

## 公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 25 年度第 3 回情報教育研究委員会情報リテラシー情報倫理分科会 議事記録

I. 日 時：平成 26 年 1 月 29 日(水) 12:30~14:30

II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、事務局会議室

III. 参加者：玉田主査、田村委員、和田委員、中西委員、本村委員(Skype)

事務局：井端事務局長、森下主幹、野本

### IV. 検討事項

#### 1. ガイドラインアンケートの意見を踏まえた見直しについて

前回の分科会で検討したアンケート意見から情報ガイドラインの各到達目標について見直し案が提示され、検討の結果、下記のように変更することになった。

##### (1) 到達目標 1 の変更

- ・ 4 年間の対応を想定していることから教育・学修方法の例示部分に「以下の内容は、初年次教育を中心とした短期的な情報リテラシーの学修で終了するのではなく、卒業までの様々な学修段階を通じて訓練する必要がある。」と記述を追加することにした。これは、到達目標 2、3 も同様に追加する。
- ・ 到達度について、内容が重複・包括・順番の相違などの指摘から再考し、2 と 3 を入れ替えることにした。1 には「内容を説明することができる」を追加した。
- ・ 到達度 1 の①では、インターネット上の記述を限定していないことから「世の中」に変更した。
- ・ 到達度 3 の①では、身の回りで利用されている事例（一部省略）、活用方法を考えさせるを、今の社会を反映させるために「パソコンやスマートフォンなどを安全に活用する方法を考えさせる。」に変更した。②には「問題意識を持たせる。」を追加した。
- ・ 測定方法の②では、対で列挙がわかりにくいとの意見から「有効性と問題点の両面から説明させる。」に変更した。

##### (2) 到達目標 2 の変更

- ・ 到達目標 2 は、ICT はあくまで手段であるなどの意見があり、「情報通信技術を用いて課題発見、問題解決に取り組むことができる。」に変更した。
- ・ 到達度では、最適の表現はレベルが高いなどの意見があり、1 には「最適な情報通信技術」、3 には「最適なコミュニケーション」とした。
- ・ 到達度 1 の①では、適切に選択することの意味を補足するため「その不使用も含めて」の記述を追加した。また、②ではケーススタディでの実務者連携を記述していたが「情報通信技術活用の新しい知見を得るために、情報通信技術を活用している産業界の将来像、社会的な役割、今後の課題などに関し、有識者の意見に触れる機会を利用し、一般社会あるいはそれぞれの専門分野における情報通信技術の効果的な活用について考えさせる。」に変更した。
- ・ 到達度 3 の①では、わかりやすくするため具体性などを希望する意見から「影響力」、「自分や他者の権利との関わり」を文中に追加した。

- ・ 測定方法では、実務家からの評価について困難との意見が多く、今回は取り下げることにした。

### (3) 到達目標3の変更

- ・ モデル化とシミュレーションについては、レベルが高いや不要・困難などの意見が多かったが、高校の指導要領にもあることから大学教育の違いを明確する必要があり、そのままにすることにした。
- ・ 到達度では、専門分野になるのでは、かなり高度であるなどの意見から表現を工夫し、1は「情報のデジタル表現や情報通信システムの構造を説明できる」、3は「社会における情報通信システムの在り方を考察することができる」とした。
- ・ 到達度1では、元③としてプログラムに関する記述をしていたが到達度2に移動させ、④を③にした。そして、③通信履歴の解釈に意見があり、「Webの閲覧履歴やメールサーバの履歴」に変更した。
- ・ 到達度3の②では、モデル化・シミュレーション・プログラムへの意見が多かったことから、「構築したモデルからシミュレーションなどを用いて解を求めさせる。例えば、アルゴリズムを具体的なプログラムとして実現し、コンピュータで実行させる。ここでは、実用的なプログラミング技術の修得ではなく、情報を科学的に検証する手段を身に付けさせることを目指す。」と説明することにした。
- ・ また、リテラシーのレベルを超えている意見もあることから、技術・構築などの言葉を変更し、「①身近な情報通信システムの例をとりあげて、社会における役割を考えさせる。②情報セキュリティに関する事件を紹介するなどして、情報セキュリティ技術の必要性を認識させる。③社会の発展に繋がる情報通信システムを考察させる。」にした。

## V. 今後の予定について

- ・ 次回の分科会では、到達目標1, 2, 3について、測定方法や測定基準のイメージを持ち寄ることになっている。
- ・ 次回の分科会開催は6、7月ごろを予定し、日程はメールで調整することになっている。